

海部地域における移動式レンダリング装置による家畜死体の化製処理の検討

西部家畜保健衛生所 ふくさだまさみ 福定昌美 いとうゆうき 伊藤侑起

【はじめに】

愛知県西部の海部地域は、木曾川のデルタ地帯に属し、地域のほとんどが海拔0m地帯である。迅速な殺と死体の処理が重要な家畜伝染病の発生時に、この地域で家畜死体等の埋却溝を掘削すると地下水の湧出する可能性が非常に高く、家畜死体の処理方法は重要な課題となっていた。

海部農林水産事務所及び西部家畜保健衛生所で構成する海部地域防疫部会では、海部地域での豚熱発生に備え、移動式レンダリング装置（以下、レンダ装置）（図1）を利用した化製処理について検討を進めたので報告する。

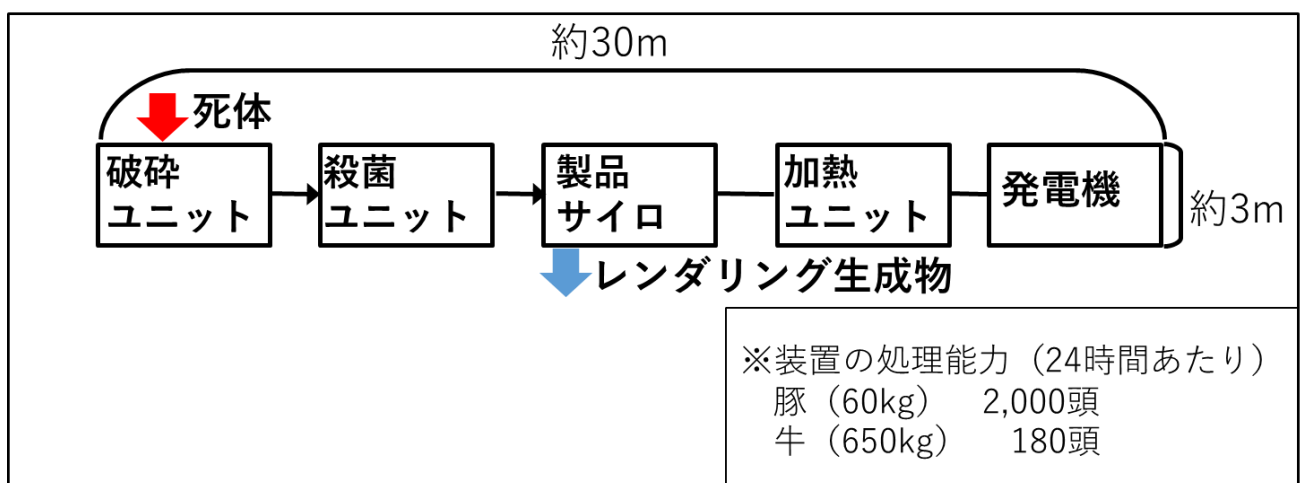


図1 レンダ装置の概要

【検討内容】

海部地域防疫部会主導のもと、以下について検討・調整を行った。

- ① レンダ装置の化製処理を想定した新たな海部地域防疫部会の班編成
- ② レンダ装置の設置候補地、候補地における装置の配置、汚染エリアの設定及び化製処理に係る作業員・車両動線
- ③ レンダリング生成物の焼却方法
- ④ レンダ装置の設置から化製処理、レンダリング生成物の焼却までの工程
- ⑤ 化製処理及び焼却に係る調達資材

【結果】

- ① 化製処理を担当するレンダリング班の設定、追跡班、移動制限班、消毒班及び農家経営支援班の業務を一つの班で担当する等の見直しを行い、海部地域の特性に応じた地域防疫部会班編成を作成した（表1）。
- ② レンダ装置設置候補地の現地調査を行い、養豚農場の立地する市町村で4か所選定した。また、各候補地のレンダ装置配置、汚染エリア区分及び車両動線を入れた配置図を作成した（図2、3）。
- ③ レンダリング生成物を焼却する施設について、調整中を進めた。
- ④ レンダ装置の設置から化製処理、レンダリング生成物の搬出までの基本的な工程管理表を作成した（表2）。
- ⑤ 化製処理等に係る調達資材一覧表を作成した。

表1 海部地域防疫部会班編成表

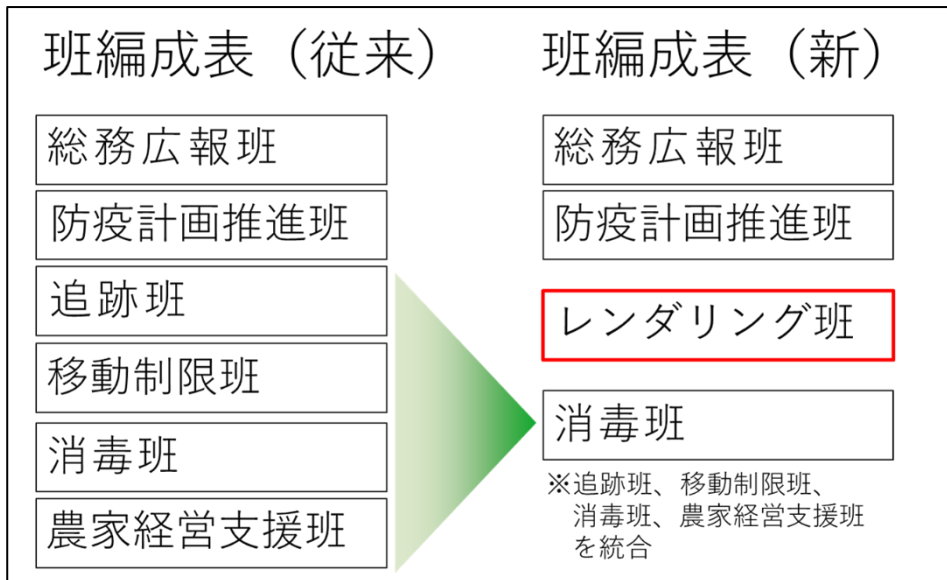


表2 レンダ装置の設置から焼却までの工程管理表

（必要な手続き等詳細は省く）

時刻（例）	工程
1日目 9時	異常豚通報
2日目 9時	レンダ装置 手配 調整
3日目 12時	レンダ装置 設置開始
4日目 11時	レンダ装置 投入開始
5日目	焼却開始

※基本的な作業工程について検討
（以降は各農場規模に応じて作成）



図2 レンダ装置設置候補地及び車両動線（一例）

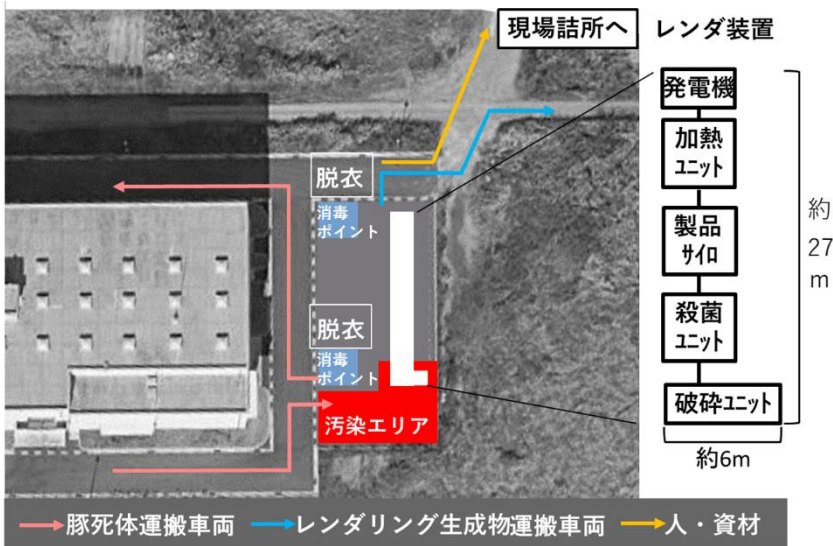


図3 レンダ装置設置候補地（拡大図）

【まとめ】

今回海部地域防疫部会主導のもと、上記の検討・調整を行ったことで、レンダ装置を使用するにあたって必要となる事項をリストアップすることができた。

今後は、豚熱が発生した場合に迅速に初動対応できるよう、今回検討した事項をもとに海部地域防疫部会各班の研修を実施する必要があると考えられる。また、アフリカ豚熱や口蹄疫等に対しても検討内容を展開させる必要があると考えられる。